

CASBEE 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|--------------------------|--------|----------------------------|
| 建物名称 | (仮称)竹田向代町計画 新築工事 | 階数 | 地上5F |
| 建設地 | 京都市伏見区竹田向代町 132-1, 132-2 | 構造 | S造 |
| 用途地域 | 工業地域, 準防火地域 | 平均居住人員 | 90 人 |
| 地域区分 | 6地域 | 年間使用時間 | 4,380 時間/年(想定値) |
| 建物用途 | 事務所 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2019年3月 予定 | 評価の実施日 | 2018年4月1日 |
| 敷地面積 | 886.30 m ² | 作成者 | 株式会社 大阪特建支店 一級建築士事務所 齊藤 和也 |
| 建築面積 | 452.58 m ² | 確認日 | 2018年4月6日 |
| 延床面積 | 2,190.14 m ² | 確認者 | 株式会社 大阪特建支店 一級建築士事務所 齊藤 和也 |



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

環境品質 G vs 環境負荷 L

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (138 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 83% (46 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 83%

④上記+ 83%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5

Q1 室内環境: 3

Q3 室外環境(敷地内): 3

LR1 エネルギー: 3.6

LR2 資源・マテリアル: 3.3

LR3 敷地外環境: 3.0

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.7

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.0

| 3 設計上の配慮事項 | | |
|--------------|---|---|
| 総合 | 沿道にできる限り緑地を設置し街並みに配慮、また開口部や界壁の遮音性能を高めるなど快適な室内空間を目指している。 | その他 特に無し |
| Q1 室内環境 | 界壁の遮音を高め、F☆☆☆☆の内装材を採用し室内の環境に配慮している | Q3 室外環境(敷地内) 沿道に緑地を配置するなど、街並みへの配慮がなされている |
| LR1 エネルギー | LED照明の採用 | LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率=82% |
| Q2 サービス性能 | リフレッシュスペースが執務スペースに対して広く設計されている | |
| LR2 資源・マテリアル | リサイクル材やノンフロン断熱材を採用している。 | |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される